

リレー随想

私は大体において、引っ込み
 思案な性格である。そうした性
 格ではあるが、ある時期思いつ
 きり、自分をきざり出さなけれ
 ばならない。そうしないとせつ
 かくの人生を、「宝の山に入り
 て手を空しくしてかえる」(正
 法念処経)ことになりかねない。
 それを自分なりにまとめて講演
 しようと文章を作り、演台に立
 っていた。長い間考えていたこ
 とではあったが、会社を経営す
 る人たちの勉強会での話に適當
 であったかどうかは、分からな
 い。社長さんといわれる人たち
 で、引っ込み思案な人というの
 は、あまりいないのかもしれない。

ここに目を向けてほしいとい
 う思いはあったので、一生懸命
 話したが、話がどこかでかみ
 合わなかったのは、私が自分の
 個人的な思いに走りすぎたの
 だ。終わりにさしかかったころ
 何となくそんな思いがして、時
 間を考えるとそう長くも話して
 おれないので、後半はかなり話
 をはしょってしまっていて、終わ
 ると同時に、聞いてくれた人たち
 に申し訳ない気持ちでいっぱい
 になった。なぜだろうと思う。
 話の内容からではない、気持ち
 の問題なのである。ここはうま
 く言えない。

講演旅行 (その3)



土地家屋調査士

田口 一法さん

翌朝は朝早くから勉強会をし
 ているので来るようにと誘わ
 れ、四時半くらいにホテルにま
 で迎えに来ていただいた。「こ
 こに来た講師の人には、早朝の
 勉強会に参加していただくよう
 になっております」と、迎えに
 来てくれた人は笑っていたが、
 真冬の早朝なので、いつも参加
 者は二人だけ、ここに私が加わ
 ったので、今日は三人で出来る
 と喜んでもらった。暖かくなっ
 たら、もう少し参加者は増える
 とのこと。

帰りにフロントによって、事
 務局の場所を教えてもらった。
 ホテルからは少し離れていた
 が、そう難しい所ではないみた
 이었다。用心のため地図を書
 いてもらった。土産を用意して
 あったのでそれもいただいた。
 なんだか申し訳ない。

事務局は二階にあったのでそ
 こに上がると、中に、この講演
 の間私の世話をしてくれたT
 さんがいて、「きのうは田口さ
 んのおかげで、会員が一人増え
 ましたよ」と言ってくれた。私
 の講演の後で、入会申し込みを
 してくれた人が一人いたそう
 だ。へえ、そんな奇特な人が
 いるんだ。と思ったが、私の話
 を聞いて入会してくれたのなら、私の講演も少しは意味の
 あるものになる。「ありがたい
 なあ」と思って、天草を後にし
 た。

熊本の事務局には、県内各地
 の会員数をボードに示してあ
 る。天草から帰って後、天草の
 会員はいつ増えるだろうと、い
 つも事務局に行くたびに、わか
 わくしながらボードの会員数を
 のぞいていたが、一月二月と
 と数字に変化はなく、「おれの
 話を聞いて入会しようなんて思
 う人は、いないよなあ」と自
 分で自分に言い聞かせた。あま
 り過大に期待してはいけないの
 である。ただ私の話とは関係な
 く、後になって驚異的に会員数
 が増えていったことは、記して
 おこう。

(熊本市花園、47歳)